

11/2 (A) 埼玉

虐待防止へオレンジリボン

県立わかさ高等特別支援校 生徒が入間市に寄贈



市役所を訪れた人(左)にオレンジリボンを渡す生徒たち(28日午後、入間市役所)

めることで虐待をなくすことを呼び掛け、虐待のない社会を築くことを目指している。

この日は、炭谷校長や生徒8人が市役所を訪れ、「心を込めて丁寧に作ったので、どうぞお使いください」と田中龍夫市長に手作りのオレンジリボンを手渡した。田中市長は「皆さんのことを思い出しながらオレンジリボンを着けている。有効に利用させていたたく」と感謝した。

生徒たちは、寄贈式の後、市役所1階の市民ホールで市民らにオレンジリボンの配布を行った。2日からは同ホールで行われる児童虐待防止水深月間の展示コーナーでも配布される。

(丸谷卓)

11月の児童虐待防止推進月間に合わせ、県立入間わかさ高等特別支援学校(入間市小谷田、炭谷渉校長)は26日、生徒が手作りしたオレンジリボンを入間市に寄贈した。同校は普通科と職業学科が併設された特別支援学校で、

2017年度からオレンジリボンの制作を行い、市に寄贈してきた。今回は普通科の1、2年生が手作りのリボン千個を市に届けた。オレンジリボンは子ども虐待防止を呼び掛ける市民運動のシンボルマークで、オレンジリボンを広